

熊本地震アスベスト対策合同会議 開催要綱

1 目的

熊本地震によって被災した建築物等の解体及びがれき処理に伴って、アスベストの飛散や作業に従事する労働者へのばく露等を防止する必要がある。このため、「熊本地震アスベスト対策合同会議（以下、「合同会議」という。）」を設置する。

2 検討事項

合同会議の検討事項は次のとおりとする。

- (1) 被災地におけるアスベスト大気環境濃度調査結果の評価
- (2) がれき処理作業中等におけるアスベスト気中濃度調査結果の評価
- (3) アスベストの飛散・ばく露防止対策の検討
- (4) その他合同会議の目的を達するために必要な事項

3 委員の構成

- (1) 合同会議には座長を置く。
- (2) 座長は、委員の中から事務局が指名する。
- (3) 座長は、合同会議の議事運営に当たる。
- (4) 合同会議に、専門の事項を検討させるため必要がある時は、専門委員を置くことができる。

4 事務局

合同会議の事務局は、日本環境分析センター株式会社に置く。

5 その他

合同会議は、原則として公開とする。

熊本地震アスベスト対策合同会議委員名簿

委員氏名	所属機関・職名等
◎ 神山 宣彦	前東洋大学経済学部 教授 (独)労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所 フェロー研究員
小坂 浩	元兵庫県立健康環境科学センター大気環境部研究員
小島 政章	建設業労働災害防止協会セーフティエキスパート
小西 淑人	(一社)日本繊維状物質研究協会専務理事
小林 悦夫	(公財)ひょうご環境創造協会顧問
高田 礼子	聖マリアンナ医科大学教授
戸塚 優子	(一社)JATI協会環境安全衛生委員会幹事
外山 尚紀	特定非営利活動法人東京労働安全衛生センター 労働衛生コンサルタント
名古屋 俊士	早稲田大学理工学術院教授
藤吉 秀昭	(一財)日本環境衛生センター常務理事
松本 吉郎	(公社)日本医師会常任理事
村岡 俊彦	熊本県環境生活部環境局環境保全課 主幹 (大気化学物質班)
森永 謙二	(独)環境再生保全機構石綿健康被害救済部 顧問医師

◎:委員長